

スクリーンビーム
導入事例



鈴鹿享栄学園(三重県)

鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校

タブレットの画面を無線でモニターに表示し、WiFiなしでも使えるワイヤレスディスプレイアダプター Screen Beam(スクリーンビーム)。今回は、中・高校の全教室にスクリーンビームを導入している鈴鹿享栄学園の先生方にお話を伺い、その機能についても詳しくご紹介します。



「校内の全教室にスクリーンビームを導入し、電子黒板の稼働率がとても高いことが本校の特徴です」—— 副校長 内田 光二 先生

■鈴鹿享栄学園のスクリーンビーム導入の概要

三重県の鈴鹿中等教育学校と鈴鹿高等学校を併設する鈴鹿享栄学園では、中・高校で合わせてプロジェクター型の電子黒板を58台、モニター型の電子黒板を6台設置しています。また、指導者用タブレットは教員1人につき1台を配布。タブレットとプロジェクター・モニターとを無線でつなぐ機器として全教室にスクリーンビームが導入されています。また、2017年の春には最新設備が整う学習施設として“情報メディア教育センター”が完成。先進の学びの場であるセンター内には、165インチの大型マルチモニターを備えたイベントホール、電子黒板を備えたグループワーク用のスタディールーム、常設のパソコンを備えたメディアブースなどが完備されています。



情報メディア教育センターの165インチモニターに映し出されたスクリーンビーム待ち受け画面と内田先生



スクリーンビームを使って、タブレットを教科書のように持ち歩きながら画面を電子黒板に投影しているワイヤレス授業風景

■スクリーンビームが選ばれた理由とは？

英語科の中川右也先生は、選定のポイントについて次のように語っています。

「やはり、誰でも簡単に無線で操作ができるという点でしょうか。たかが無線という些細なことかもしれませんが、それによって“始業前にケーブルをつないで準備する”などといった煩わしさをなくしたことの影響は大きかったと思います。技術的なハードルが下がると、今までICT機器を使わなかった先生でも気軽に使いこなせるようになっていきます。また、コストパフォーマンスが良い点も、校内のICT化を進めるうえで強い後押しになりましたね。」

Actiontec®

Actiontec Electronics, Inc. 日本オフィス

お問い合わせ

 : 03-5288-5340[※] ※平日（土日祝除く）
10:00-17:00

 : japan-sales@actiontec.com

Actiontec Electronics, Inc. 日本オフィスは、下記の団体に参加しています。

- ・一般社団法人日本教育情報化振興会 正会員
- ・ICT CONNECT 21 会員
- ・Windows クラスルーム協議会 会員

*Actiontec Electronics, Inc.、Actiontec、Actiontec Logo、ScreenBeamおよびScreenBeam Proは、米国Actiontec Electronics, Inc.の登録商標です。
記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

*製品の仕様は予告なく変更される場合があります。最新の仕様については弊社営業までご確認ください。

www.screenbeam.com